学校番号	T0308

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂　地学基礎（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1　日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度をもつこと。
2　疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
3　学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="4">宇宙における地球</td><td>宇宙の広がり</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:宇宙の始まりに関心をもち,どのように誕生し,現在の姿になったのかについて意欲的に探究しようとしている。
b:宇宙の始まりの図を用いて,ビッグバンから宇宙の晴れ上がりまでのストーリーを説明することができる。
c:宇宙の誕生過程で水素やヘリウムが生成され,宇宙の晴れ上がりが起きたことを考察することができる。
d:宇宙の誕生過程を理解し,ビッグバンや宇宙の晴れ上がりなどの知識を身に付けている。</td><td rowspan="4">学習状況の観察
ノートやワークシートの記述
探究活動の記録、発表
定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>宇宙の広がりと銀河の分布</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>太陽</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>太陽の組成</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">宇宙における地球</td><td>太陽系の中の地球</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:太陽系がどのような天体で構成されているか,それらの天体がどのように誕生したのかについて関心を持ち,太陽系の成り立ちについて意欲的に学習しようとしている。
b:太陽系，地球，金星などの元素組成を比較･検討することによって,地球と金星の形成過程が似ていることを考察することができる。
c:太陽系，地球，人体などの元素の割合を調べて,コンピューターを用いてグラフで表し,それぞれを比較することができる。
d:太陽系を構成する天体,原始太陽，原始太陽系星雲，微惑星，原始惑星，地球型惑星と木星型惑星の形成過程について理解し,知識を身につけている。</td><td rowspan="3">学習状況の観察
ノートやワークシートの記述
探究活動の記録、発表
定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>地球の姿</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>地殻変動と岩石</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	活動する地球	火山活動と地震	○		○		a:世界および日本の火山分布，マグマの発生，火山の噴火様式と形，火山噴出物，火成岩の産状，火成岩中の鉱物の形，火山岩と深成岩の組織の違い，火成岩のおもな造岩鉱物の特徴，火成岩の分類に関心をもち，偏光顕微鏡による火成岩の観察などを通して，火成岩のなりたちを意欲的に学習しようとしている。 b:マグマの性質と噴火の様式を示す表から，実際の火山について，その形とマグマの性質の関連を考察することができる。 c:偏光顕微鏡による火成岩の観察では，プレパラートの作成から準備し，偏光顕微鏡を操作してスケッチし，岩石名を決定することができる。 d:世界および日本の火山分布，マグマの発生，火山の噴火様式と形，火山噴出物，火成岩の産状，火成岩中の鉱物の形，火山岩と深成岩の組織の違い，火成岩のおもな造岩鉱物の特徴，火成岩の分類を理解し，知識を身に付けている。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果
		岩石の種類と地層	○		○	○		
		大気と海洋	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。